

ユーロ/円

2010.9.2

<日足から想定される今後1週間程度の相場>

日足はユーロの高値圏(桃色の帯)に入る長めの陽線となっています。当面は高値目処を探る展開が想定されますが、これまでの相場基調に変化がないのであれば、直ぐに反落に転じることが予想されます。もしそうならないようなら、日足は新しい上昇局面に入る可能性が出てきます。

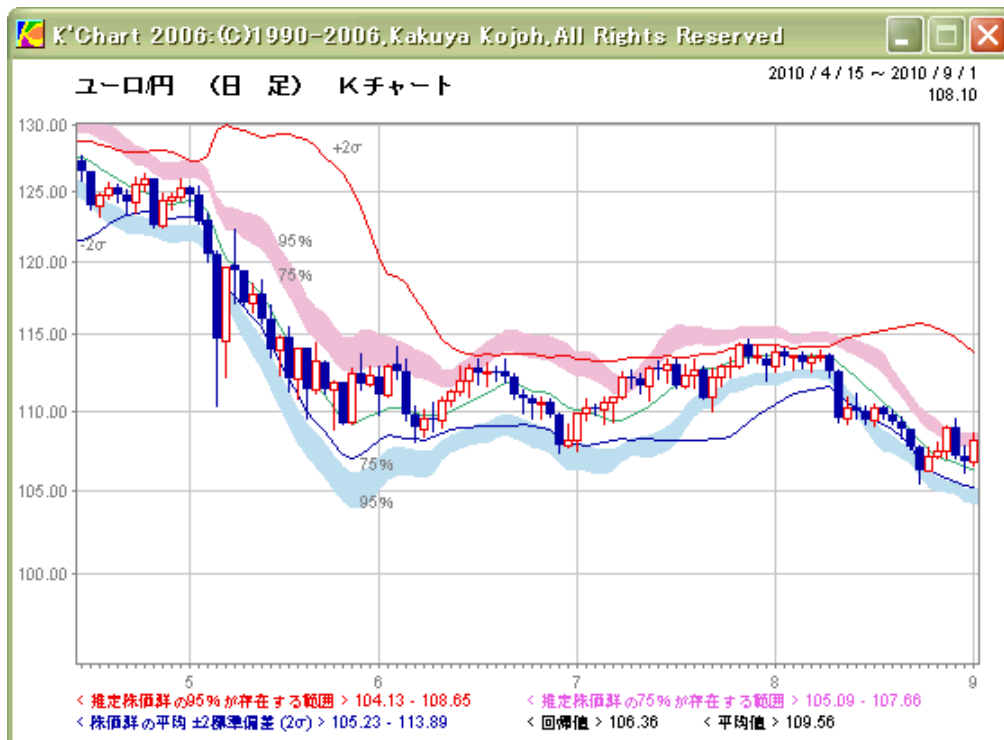
<週足から想定される今後1カ月程度の相場>

週足は回帰値(緑色の実線)を跨いで下影の長い同事足(始値と終値がほぼ同値の足形)のような陰線となっています。先週、既に回帰値を跨いでいますから、今週末に陽線となって終わるようなら、今後、高値圏へ向かって上昇する展開が想定されますが、回帰値を割り込む陰線となって終わるようなら、ユーロの下値圏(水色の帯)へ向かって下落に転じる可能性も出てきます。

<月足から想定される今後3カ月程度の相場>

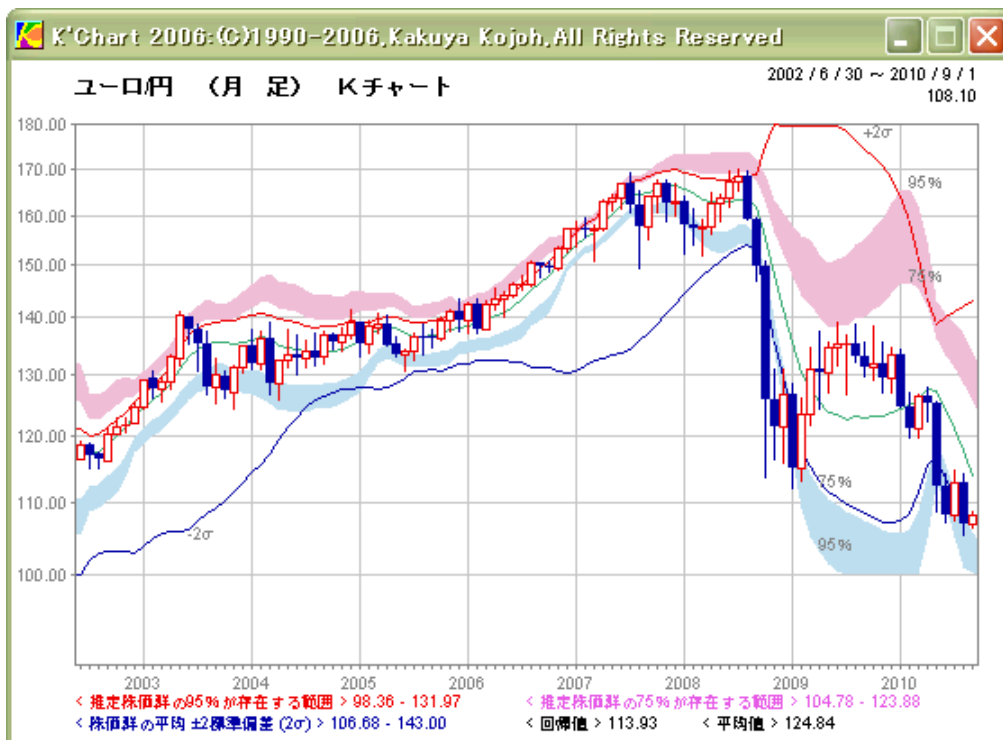
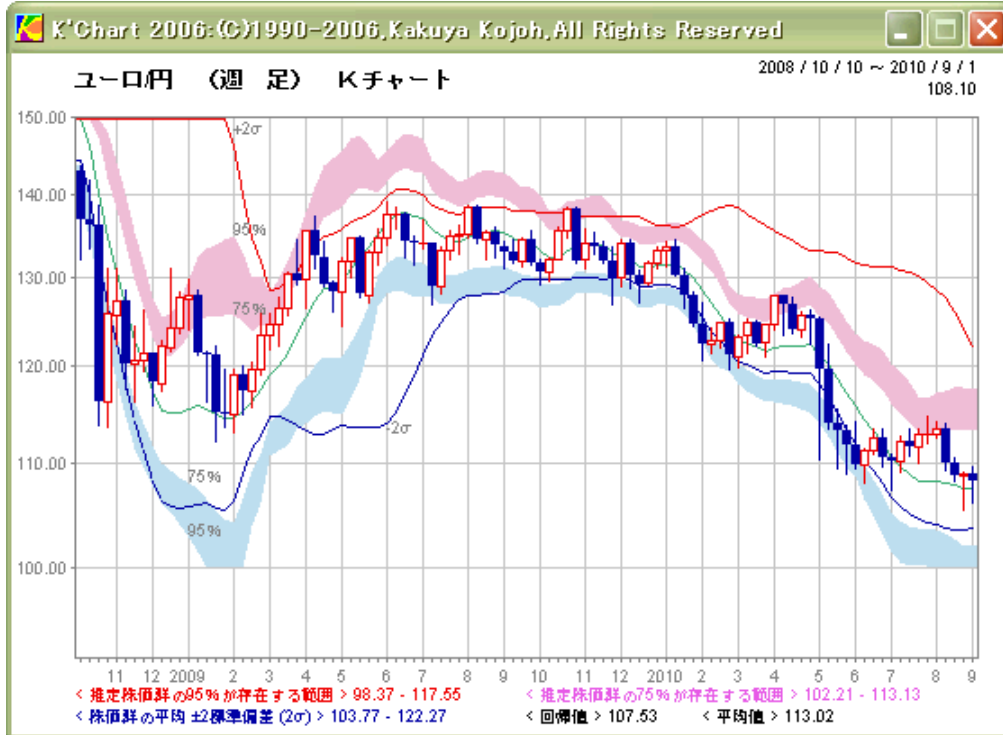
月足は下値圏を僅かに上回る位置で始まりました。今月末に下値圏から上放れる明確な陽線となって終わるようなら、今後、回帰値へ向かって上昇する展開となることが想定されますが、下値圏に明確に入る陰線となって終わるようなら、下値目処を探る展開が続くことを想定することになります。

ユーロ圏諸国では、景気の停滞が続いていますが、財政赤字の拡大に対する警戒感が強いことから、思い切った景気刺激策がとりにくく、金縛り状態にあります。日本の景気も芳しくはありませんが、政治的混迷が続いていることから、日欧の経済、金融環境は変化しにくいと見る投資家が多く、比較感でユーロが売られる地合いが続いています。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したのではなく、その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものでなく、その正確性や完全性を保証するものではありませんし、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようお願いします。